つものであった。

貴重な標本を恵与下さった各氏に深謝したい。

(〒110　台東区台東2-29-6)

徳島県剣山でアオナガタマムシを採集

小笠原　隆



1973年7月，徳島県剣山でカミキリムシを採集中に，アオナガタマムシ *Agrilus marcopoli ulmi* Y. KUROSAWA を得たので報告する。

本種は北海道・本州・九州の山地より採集されているが，東京都下奥多摩日原・山梨県小金沢以外の地ではかなり稀な種で，四国における記録は今回が初めてと思われる。

1 ex., 徳島県剣山, 30. Ⅶ. 1973,
小笠原隆採集，藤田宏保管

採集地点は，リフト終点西島駅から尾根道を少し登った標高1750m付近で，樹種不明の枯枝より得られた。

(〒780　高知市西秦泉寺420-19)

紀伊半島で採集された注目すべきタマムシ2種

秋山　黄洋

1.　シリグロナカボソタマムシ

Coraebus kiangsuanus nigromaculatus
Y. KUROSAWA

日本産ナカボソタマムシ属の最大の種であるが，現在まで採集された頭数は黒沢良彦博士によれば，タイプ標本を含めてわずか2♂2♀である*)。筆者は幸いにも5頭めである奈良県伯母子岳産の標本を見ることができたので報告しておきたい。

1♀，奈良県伯母子岳，19. Ⅶ. 1971，松田潔採集

ミズナラのビーティングで得たという。本種の原産地は，伯母子岳の続きの護摩ノ壇山で，この付近一帯は深い原生林におおわれ，採集者もほとんど訪れていないようで，今後の調査が楽しみである。

*) 1♂，和歌山県護摩ノ壇山 (holotype)； 1♂，新潟県黒川村；1♀，山梨県 東山梨郡三富村 西沢 (以上，甲虫ニュース No.10, 1970)；1♀，札幌市円山 (未発表)

2.　アカヘリミドリタマムシ

Buprestis (*Cypriacis*) *niponica* HOSCHECK

日本産タマムシの中でもっとも美しい種であろうが，福島県湯ノ花温泉を除けば，数ケ所で各1～2頭が採集されているにすぎない。

1♀，奈良県荒神山，25. Ⅵ. 1972，松田潔採集

関西地方では原産地の京都に次ぐ記録であろう。採集者の松田氏によれば，峠の茶屋付近において2m位の高さにあったマツの枯枝についていたという。

なお，現在まで採集されたアカヘリミドリタマムシはすべて♀で，♂はまだ採集されたことを聞かない。この種に限らずタマムシ一般に♂が少ないようである。

末筆ながら，快く発表を許された松田潔氏に深く感謝したい。なお，標本は筆者が保管している。

(〒235-02　横浜市磯子区坂下町1—43)

神奈川県城ケ島のルイスナカボソタマムシの記録

藤田　宏

ルイスナカボソタマムシ *Coraebus rusticanus* LEWIS は北海道・本州・四国・九州および伊豆諸島に産する比較的少ない *Coraebus* である。

本種は伊豆諸島においては海岸付近にても得られるものであるが，それ以外では中山帯に産し，低山帯および平地からの採集例を聞かない。

筆者はここに，まったくの平地であり，かつ海岸であるところの神奈川県三浦市城ケ島産の標本を所持しているので，大変興味深く思い，報告しておく。

1 ex., 東京羽化脱出, 31. Ⅴ. 1972, オオバヤシャブシ材 (三浦市城ケ島, 25. Ⅳ. 1972, 下村徹採集)

末筆ながら，貴重な標本を快く恵与下さった下村徹氏に深謝したい。

(〒110　台東区台東2-29-6)

青森県におけるオオルリハムシの冬期採集例

木附　嘉理

オオルリハムシ *Chrysolina virgata* MOTSCHULSKY f. *obscurofasiata* JACOBY の冬期における採集例があるので報告する。本種は美麗なことや日本産ハムシの中では比較的大型であり，また産地により色彩を異にすることで有名であるが，生息環境が水辺であることや比較的少ない種に属することなどから，越冬報告はなかったもようである。

今回採集された個体は，私の手によるものではないため詳しい採集状況はわかりかねるが，水辺の畔のようなところでオサ掘りの際に出てきたもので，かなり個体が新鮮なことから，おそらく夏の終りから秋期にかけて発生したものではないだろうか。

1 ex., 青森県十三湖, 7～12. Ⅺ. 1973, 坪井採集

なお，本種は日本海側では山形・新潟・佐渡に採集例があるが，青森県では初めての記録と思われる。

末筆ながら，上記標本を恵与された坪井氏，ならびに発表にあたりいろいろと御指導いただいた平野幸彦氏に感謝申し上げる。

（〒182　調布市柴崎2-18-1）

長野県軽井沢における　オオシラホシハナノミの記録

平山　洋人



ハナノミ科オオシラホシハナノミ *Hoshihananomia pirika* Kono は，本州からは現在までに群馬県片品村大沢，兵庫県氷ノ山から記録され，原産地北海道の他に四国・九州でも採集されている(未発表)らしいが，いずれの地においても稀なもののようである。

1973年，筆者は軽井沢において本種を採集しているので報告しておく。

1♀，長野県北佐久郡軽井沢町矢ヶ崎山，8. Ⅷ. 1973

ワレモコウ，アザミ類の多い草原を飛翔中のもの。

末筆ながら，本種の同定および御教示下さった高桑正敏氏に深く感謝したい。

（〒336　浦和市大字文蔵1148）

山梨県のオオキボシハナノミの記録

高桑　正敏



ハナノミ科オオキボシハナノミ *Hoshihananomia auromaculata nipponica* Nomura は南方系の種と考えられ，原亜種は台湾に産する。本亜種は屋久島・対馬・四国・本州から記録され，また意外にも北海道トムラウシにおける単発記録がある。本州では奈良県春日山に稀ではないらしいが，その他の地域ではこれまで採集された話を聞いていない。しかし，1972年に山梨県大菩薩山塊で２頭が採集され，ようやく北海道と奈良県との分布空白が一部だが埋まったので，ここに報告しておきたい。

２♀♀，山梨県大月市小金沢林道（標高約 1300m），30. Ⅶ. 1972，木村欣二・露木繁雄採集，標本筆者保管

なお，上記山梨県産は他産地のものと比較してとくに差は見いだせず，わずかに１♀の上翅黄色紋がやや淡色であるにすぎない。

（〒236　横浜市金沢区六浦町3577）

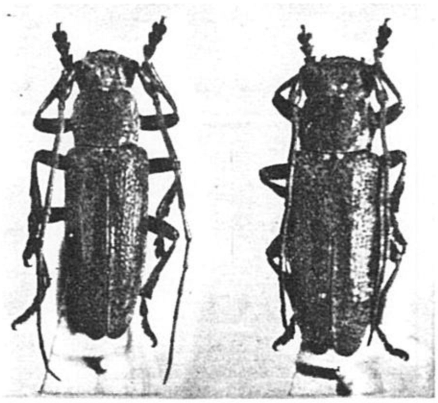
伊豆半島でハチジョウウスアヤカミキリを採集

小田　義広*・久保田篤男**

ハチジョウウスアヤカミキリ *Bumetopia japonica heiana* Hayashi は従来，伊豆諸島から知られていたが，1972年に石田正明氏によって千葉県勝浦の採集例が報告され（月刊むし18号，16頁），本州にも分布することが明らかとなった。

筆者２人は静岡県伊豆半島下田付近を訪れた際に，メダケ材中より成虫を得ることができたので，千葉県下に続く本州の記録としてここに報告しておきたい。

12exs.，伊豆半島下田～須崎，11. Ⅱ. 1973



左：♂　右：♀

*（〒253-01　神奈川県高座郡寒川町倉見）
**（〒346　久喜市六万91　埼玉県園芸試験場）

長野県戸台でヨコグロケシカミキリ

大沢　昭夫

1973年５月４，５日に長野県上伊那郡戸台を訪れた際に同所の枯木を採集してきたところ，ヨコグロケシカミキリ *Exocentrus fisheri* Gressitt が１頭脱出したので報告する。

１♂，横浜羽化脱出，21. Ⅴ. 1973，材種不明
（長野県上伊那郡戸台，4. Ⅴ. 1973，筆者採集）

本種は草間慶一（1973，日本産カミキリの生態と分布一覧表，新しい昆虫採集案内Ⅲ）によれば，札幌・南大雪・福島県湯ノ花・奥日光・武尊山から得られ，長野県